

## 【参考資料】

今回、この袋井市防災都市づくり計画において示した都市構造上の災害リスク（建物倒壊・延焼火災・道路閉塞）以外にも、地震、津波、水害、土砂災害など、それぞれ地域ごとに災害リスクを抱え、様々な想定やハザードマップが公表されています。

例えば、平成 23 年に発生した東日本大震災による甚大な被害の発生状況を踏まえ、かつて経験したことがないような地震被害を想定した「静岡県第 4 次被害想定（平成 25 年 6 月・静岡県発表）」があり、この想定によると、本市では、災害の被害として、建物全壊・焼失棟数が約 15,000 棟、死者約 600 人が想定され、その被害の大半が地震の揺れによるものとなっています。

また、その他の災害として、水害では、1/50 確率の大雨で河川が増水・破堤した場合に、太田川や原野谷川沿いなど市街地広範での浸水が想定されるほか、土砂災害や液状化発生の危険箇所など、市内各所で被害の想定がされています。

こうした災害に対しては、「袋井市地震・津波対策アクションプログラム 2013」や「袋井市中部豪雨災害対策アクションプログラム」に基づき様々な対策が進められていますが、被害を軽減するためには、行政・市民・地域が一体となって防災対策を進めていくことが重要です。

参考資料として、本市が作成した、地震・津波・水害・土砂災害に関するハザードマップを記載いたしましたので、今回この袋井市防災都市づくりを進めるとともに、こうした災害リスクについても十分に理解し、今後の対策を強化していきましょう。

■過去の災害履歴（地震・風水害等）

過去に大規模な災害をもたらした主な災害として、地震被害では、昭和 19 年に、死者 143 人及び多くの建物の全半壊被害が発生した「東南海地震」が挙げられます。

また水害被害では、昭和 49 年に、太田川決壊により広域にわたって家屋や田畑が浸水した洪水被害や、袋井市中部を流れる蟹田川・沖之川・小笠沢川の流域では、低い土地が広く分布することから、平成 10 年、16 年の集中豪雨をはじめ、床上・床下浸水等をもたらす内水氾濫が頻繁に起きています。

詳細については、次のとおりです。

（地震）

	発生時期	人的被害	物的被害	被災状況
宝永 (M=8.4)	宝永 4 年 10 月 (1707 年)	不明	不明	・全県下に被害が発生し、沿岸では大津波 ・東海道沿いで震度 6、袋井・掛川は震度 7
安政東海 (M=8.4)	安政元年 12 月 (1854 年)	不明	不明	・県下全域に被害発生 ・御前崎を中心に隆起、沿岸一帯では津波、各地の又低地では液状化現象が発生 ・特に掛川、袋井付近の東海道沿いで被害大
東南海 (M=7.9)	昭和 19 年 12 月 (1944 年)	死者 143 人	住家全壊 2,109 棟 住家半壊 942 棟 非住家全壊 1,758 棟 非住家半壊 1,068 棟	・県中・西部で被害大 ・遠州灘で津波の高さ 1~2m、太田川流域の住家被害率が高く、当市では今井地区（旧今井村）で 97%を始め、市内全域で被害
駿河湾沖 (M=6.5)	平成 21 年 8 月 (2009 年)	軽傷 1 人	一部損害のみ (瓦落下、ブロック 塀破損等)	・袋井市では震度 5 強～5 弱

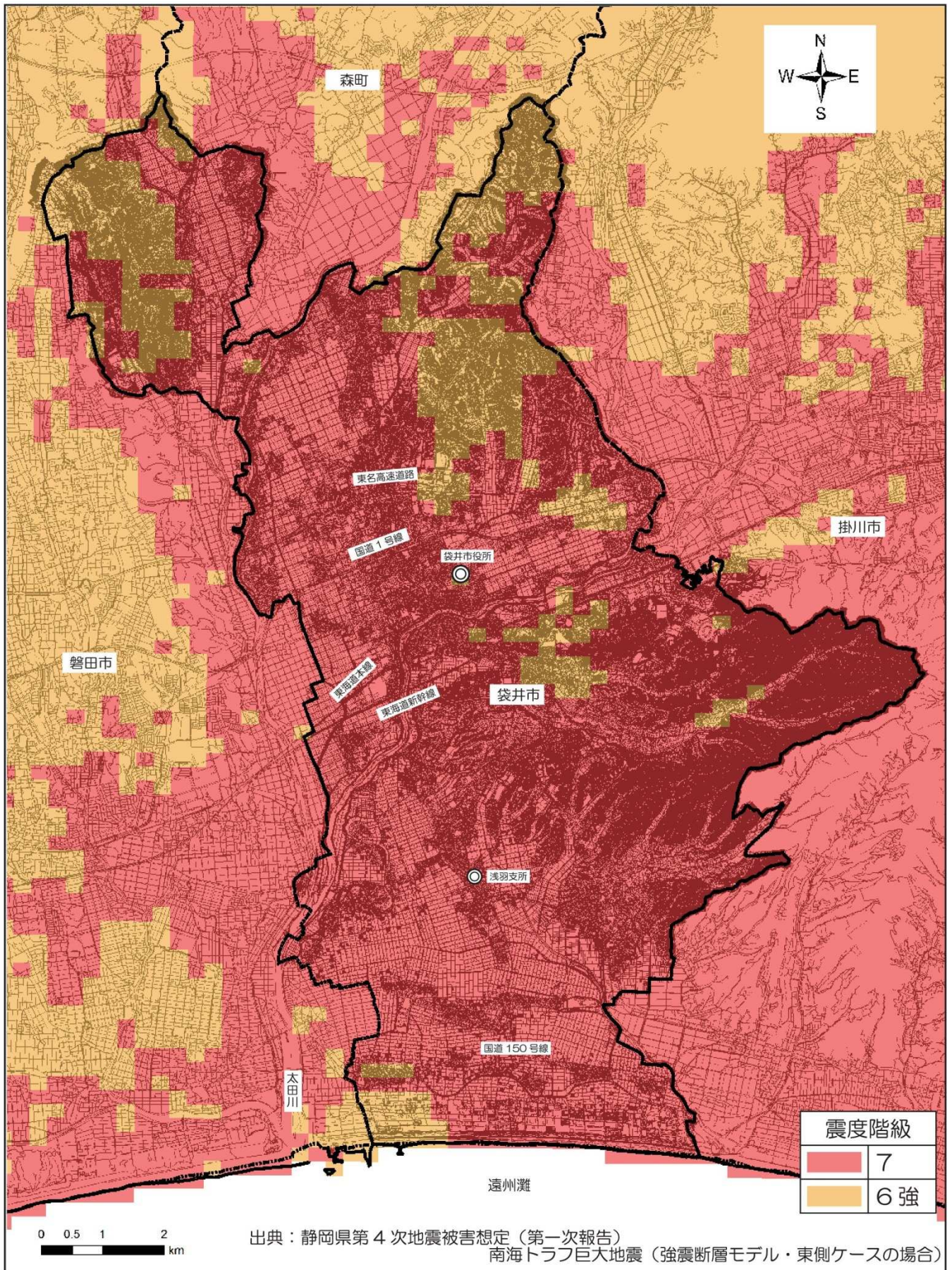
（風水害） ※被害が大きいものに限定

区分	発生時期	人的被害 (人)		家屋被害 (棟)		備考
		死者	負傷者	全壊	半壊	
竜巻	明治 35 年 3 月	5	23	49	14	
台風	大正 15 年 9 月	5	52	337	407	・左記は周知群、磐田群を併せた数値
台風	昭和 26 年 7 月	—	—	—	40 (床下浸水)	・太田川が氾濫、山梨、宇刈で被害 ・県内北部山間地は、2 日間で 150 mm を超える雨
梅雨前線	昭和 27 年 7 月	—	—	—	11 (床下浸水)	・敷地川の決壊により、三川で被害 ・県内の一部は、7 日間で 400 mm を超える雨
低気圧	昭和 34 年 8 月	—	—	26 (床上浸水)	40 (床下浸水)	・敷地川、一宮川の氾濫により、三川で被害 ・原野谷川、敷地川で 3~4 箇所の橋の流失
伊勢湾 台風	昭和 34 年 9 月	—	—	3	2	・山岳方面で 1 時間降雨量は 30~35 mm ・台風の最も接近した時刻が満潮時と一致したため、高潮や高波が発生

区分	発生時期	人的被害 (人)		家屋被害 (棟)		備 考
		死者	負傷者	全壊	半壊	
七夕豪雨	昭和 49 年 7 月	—	—	103 (床上浸水)	180 (床下浸水)	・集中豪雨により延久・横井で太田川が決壊し、多くの被害を受け、災害救助法が適用 ・住家全壊 6 戸、半壊 11 戸
台風	昭和 57 年 9 月	—	—	10 (床上浸水)	115 (床下浸水)	・牧之原では 12 日 16 時から 17 時の 1 時間に 91mm の豪雨、降り始めからの総雨量が 628mm
低気圧の前線	平成 10 年 9 月	—	—	20 (床上浸水)	80 (床下浸水)	・袋井市において総降水量 211mm、時間最高雨量 55mm
集中豪雨	平成 16 年 11 月	—	—	37 (床上浸水)	175 (床下浸水)	・11 日午後 10 時から午後 11 時の時間雨量は、袋井市雨量観測過去最大の 76 mm の記録的豪雨
突風	平成 19 年 2 月	—	5	3	3	・諸井、浅羽、浅岡地区で、屋根破損、屋根瓦落下、窓ガラス破損などの被害 ・一部損壊 156 棟、農業施設 23 棟
突風	平成 20 年 3 月	—	—	3	—	・川井、袋井地区で、住宅の屋根が剥がれる、屋根瓦が飛散するなどの被害 ・一部損壊 147 棟、農業施設 4 棟
台風	平成 23 年 9 月	—	12	1 (床上浸水)	多数	・山名小で時間最大雨量 33mm ・一部損壊も 多数
台風	平成 24 年 6 月	—	—	—	2 (床下浸水)	・大雨、暴風による被害とともに、広範囲にわたって長時間の停電 ・住家の一部損壊 93 件
大雨	平成 24 年 8 月	—	—	5 (床上浸水)	26 (床下浸水)	・市内 20 路線の道路冠水、22 件の土砂崩れ、倒木などの被害が発生 ・山名小で時間最大雨量 75mm
台風	平成 24 年 9 月	—	—	—	—	・広範囲にわたって長時間の停電発生 ・住家の一部損壊 1 件、軽微破損 49 件
突風	平成 24 年 10 月	—	—	—	—	・岡崎から山崎にかけて、住家の屋根瓦のめくれや非住家の屋根の飛散などの被害 ・住家の一部損壊 15 件、非住家 7 件

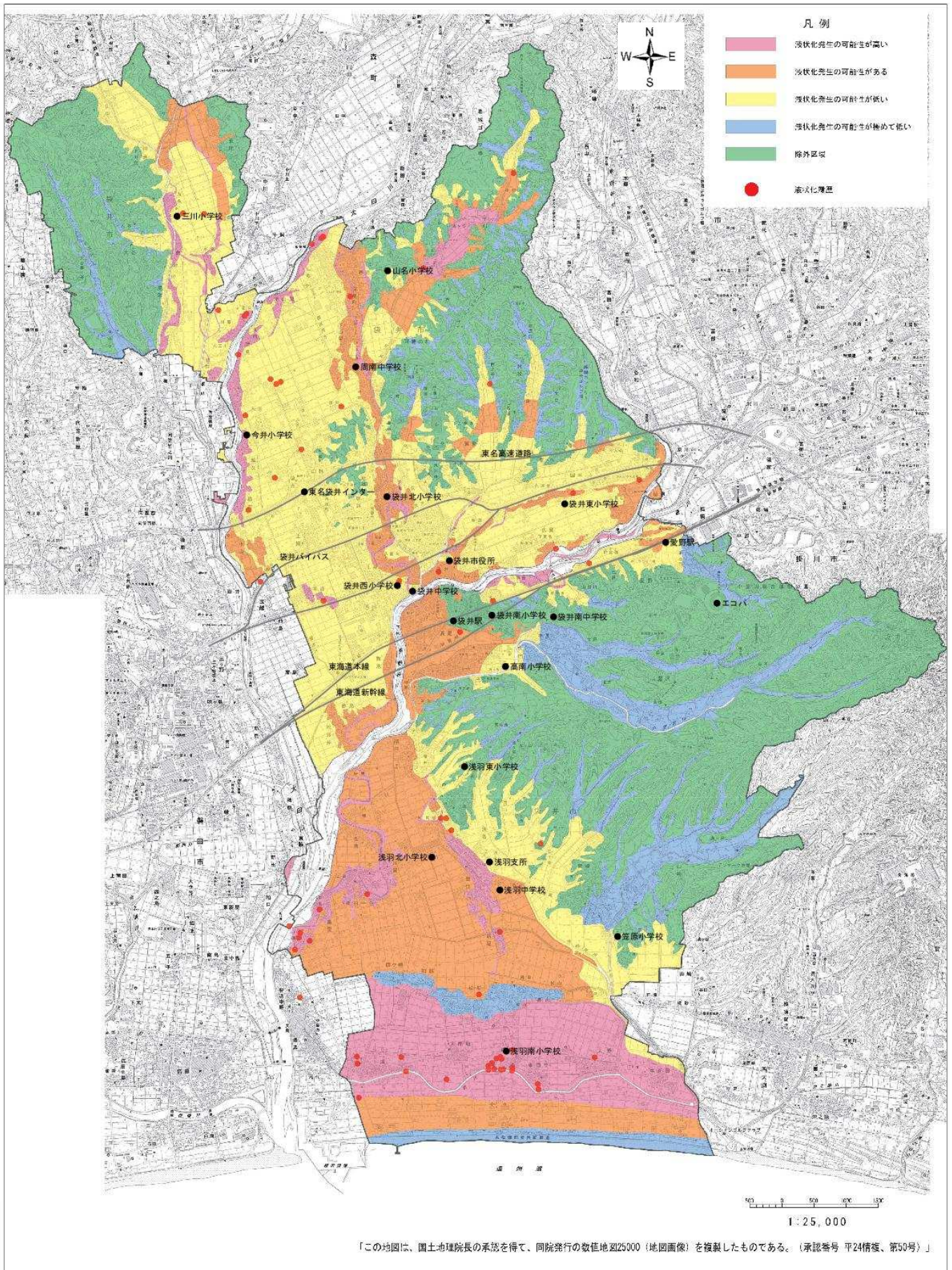


袋井市震度分布図



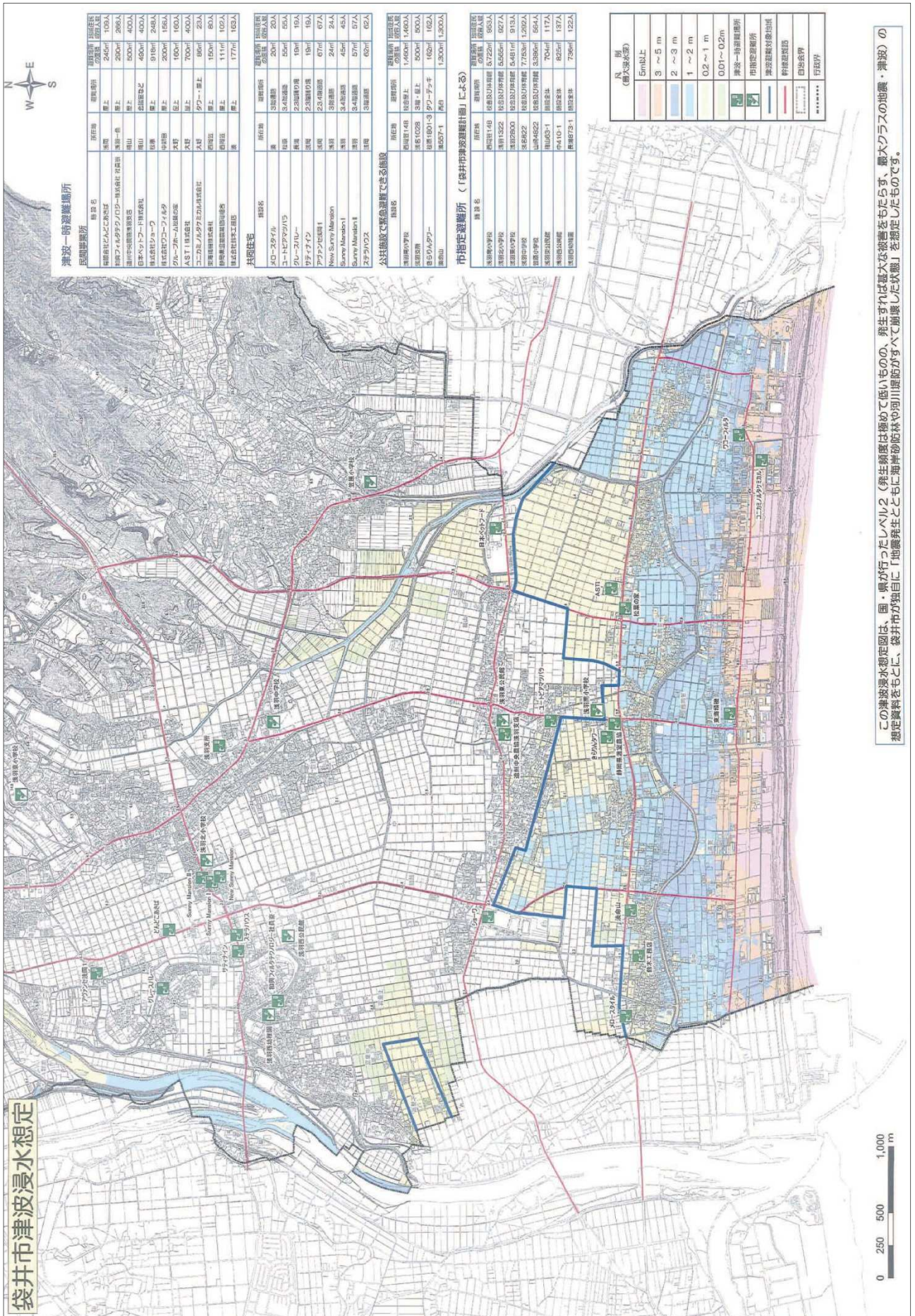


袋井市液状化危険度マップ





袋井市津波ハザードマップ



袋井市津波浸水想定

津波一時避難場所

施設名	所在地	避難可能人数	避難可能人数
福井市立中央公民館	福井市 東上	245名	109人
福井市立中央公民館	福井市 東上	250名	266人
福井市立中央公民館	福井市 東上	500名	400人
福井市立中央公民館	福井市 東上	480名	400人
福井市立中央公民館	福井市 東上	918名	248人
福井市立中央公民館	福井市 東上	200名	156人
福井市立中央公民館	福井市 東上	160名	180人
福井市立中央公民館	福井市 東上	700名	400人
福井市立中央公民館	福井市 東上	86名	23人
福井市立中央公民館	福井市 東上	150名	80人
福井市立中央公民館	福井市 東上	111名	102人
福井市立中央公民館	福井市 東上	177名	183人

公共施設で緊急避難できる施設

施設名	所在地	避難可能人数	避難可能人数
AO-スタイル	福井市 東上	20名	20人
ユー・エフ・エス	福井市 東上	34名	50人
ユー・エフ・エス	福井市 東上	19名	19人
ユー・エフ・エス	福井市 東上	19名	19人
ユー・エフ・エス	福井市 東上	67名	67人
ユー・エフ・エス	福井市 東上	24名	24人
ユー・エフ・エス	福井市 東上	45名	45人
ユー・エフ・エス	福井市 東上	57名	57人
ユー・エフ・エス	福井市 東上	65名	62人

市指定避難所

施設名	所在地	避難可能人数	避難可能人数
福井市立中央公民館	福井市 東上	1,050名	1,400人
福井市立中央公民館	福井市 東上	500名	500人
福井市立中央公民館	福井市 東上	162名	162人
福井市立中央公民館	福井市 東上	1,300名	1,500人

市指定避難所 (「袋井市津波避難計画」による)

施設名	所在地	避難可能人数	避難可能人数
福井市立中央公民館	福井市 東上	572名	993人
福井市立中央公民館	福井市 東上	545名	677人
福井市立中央公民館	福井市 東上	548名	913人
福井市立中央公民館	福井市 東上	775名	1,292人
福井市立中央公民館	福井市 東上	3,396名	564人
福井市立中央公民館	福井市 東上	704名	1,174人
福井市立中央公民館	福井市 東上	825名	1,374人
福井市立中央公民館	福井市 東上	796名	1,224人

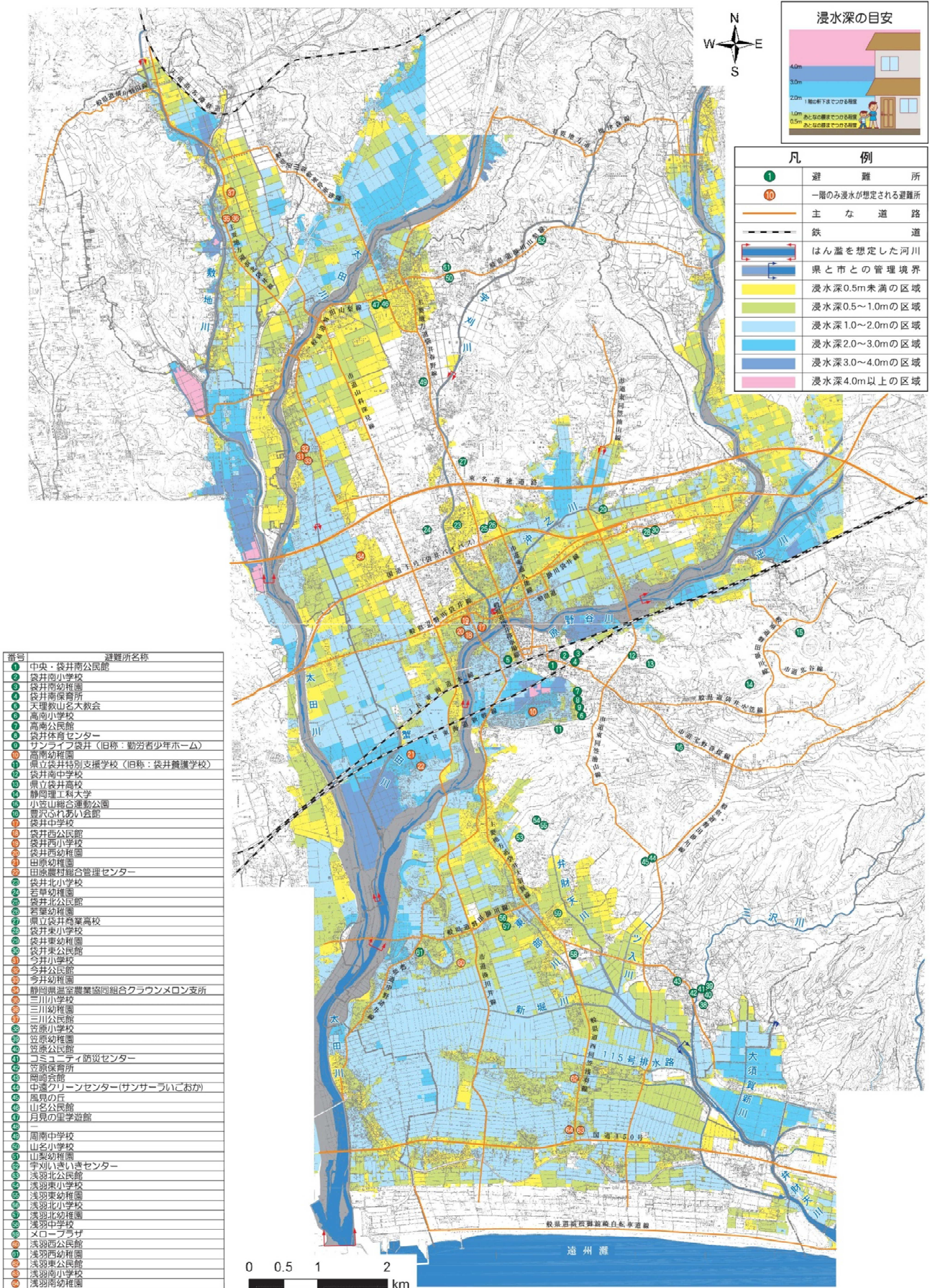
浸水深	色
5m以上	ピンク
3 ~ 5 m	オレンジ
2 ~ 3 m	黄色
1 ~ 2 m	薄青
0.2 ~ 1 m	濃青
0.01 ~ 0.2m	緑

この津波浸水想定図は、国・県が行ったレベル2（発生頻度は極めて低いもの、発生すれば最大被害をもたらし、最大クラスの地震・津波）の想定資料をもとに、袋井市が独自に「地震発生とともに海岸砂防林や河川堤防がすべて崩壊した状態」を想定したものです。

0 250 500 1,000 m



袋井市洪水ハザードマップ





袋井市指定避難場所

